

「令和8年度 景観への意識高揚事業のプロモーション等業務委託」に係る質問・回答表

令和8年2月6日 住宅都市みどり局地域まちづくり推進部都市景観室

No.	質問項目	質問内容	回答
1	選考委員会の選考について	書類選考～現地二次選考の各選考で何件ずつに絞っていくのか。	応募総数500件程度から、部門ごとに審査します。 書類選考で各部門10作品程度、現地一次選考で各部門2作品に絞り込み、現地二次選考で入選作品を決定します。
2	選考での現地写真撮影について	応募時点で推薦者より写真が提出されていると思うが、その写真と別に写真撮影を実施するのか。	現地選考の様子を撮影していただきます。
3	選考時の所有者等との連絡調整について	現地選考候補作品の所有者等とは、建物や作品の所有者を指すのか。 応募者が作品関係者（管理会社等）の場合も、応募者とは別で所有者等に連絡調整が別途必要か。	現地選考は、作品の所有者と連絡調整を行っていただき、了承を得たうえで実施します。 応募者が管理会社等の場合は、そちらを介して所有者と連絡調整いただいても結構です。
4	公式サイトについて	福岡市都市景観賞公式サイト作成には何のシステムを使用しているか。 外部で作成したwebフォームを入れることは可能か。	公式サイトはWordPressにて作成しております。 外部で作成したwebフォームの導入については、特に制限はありません。
5	広報物の送付先と掲出作業について	（資料2）過去送付先一覧の送付先に各何部送付したか。 また掲出作業を実施した場所は。	送付部数は、送付先1件につきポスター・チラシ各1部程度です。 掲出作業は福岡市地下鉄（空港線・七隈線各駅）等で実施しています。
6	都市景観賞 受賞作品PR動画・静止画について	過去作品含む受賞作品すべてに1件ずつ静止画を作成するのか。どういった内容を想定しているか。 また、デジタルサイネージ用のサイズなどの仕様はあるか。	静止画は受賞作品の決定を周知できる内容を想定しています。作品ごとに作成いただく必要はありません。 また、動画は比率16：9のサイズで作成してください。
7	広報等プロモーション活動について	「認知度が低い30代以下」には39歳まで含むのか。 また、前回実績でアンケートなど数値結果はあるか。	39歳まで含みます。 R5年度の市政アンケートにおける都市景観賞認知度は、全年代は30.2%、30代は19.2%です。
8	公式インスタグラムの活用について	公式インスタグラムは、市民投票期間中から活用し、投票を促すプロモーションを実施する認識でよいのか。	過去受賞作品紹介等の定期投稿は年間を通じて実施し、投票期間中はPR強化のため、より積極的な投稿を行ってください。
9	表彰式について	会場に求める設備、収容人数などの仕様はあるか。	受賞者、来賓、関係者、運営スタッフ等を含め、概ね100名以上が着席可能であること。ステージ、音響・映像設備、控室、受付スペースを備えていることを想定しています。 R5年度は福岡市科学館6F サイエンスホールにて実施しています。
10		会場の収容人数など過去実績は。	
11	賞状・トロフィーについて	受賞名ごとに、過去制作した賞状とトロフィーのサイズや種類、数をご教示ください。	R5年度の賞状はA3サイズ、トロフィーは光学ガラス製オーナメント（品番J54-01B）で統一しています。 賞状計21枚（受賞作品の所有者・設計者・施工者宛）、トロフィー計8点（代表者宛）を贈呈しています。
12	効果検証について	過去実施した際の都市景観賞の認知数、成果指標や結果数値は。 またそれを踏まえた令和8年度の目標数値はあるか。	No. 7を参照
13	景観セレクション 展覧会について	過去に使用した会場や開催方法は。	景観セレクションは今年度からの新規事業ですが、過去の類似例として、R6年度景観賞PR事業である「まちなみ写真コンテスト」の展覧会を福岡市美術館2階エントランスロビーにて実施しています。展示パネルをスタンドに設置し展示しました。
14		都市景観賞とセレクションの展覧会は、同じ開催場所でも問題ないか。	同じ会場でも問題ありませんが、セレクションの展覧会については、オンライン開催などより多くの参加が見込める方法を想定しています。
15	効果検証について	過去実施した際の市民の景観に関する関心度向上への、成果指標や結果数値は。 またそれを踏まえた令和8年度の目標数値はあるか。	No. 7を参照